

## 第3回中部 MIST (Minimally Invasive Spine Stabilization) 研究会 本会 報告書

平成 27 年 3 月 21 日 (土) ウィンクあいち (愛知県名古屋市) にて  
第 3 回中部 MIST 研究会を開催させていただきました。春分の日の祝日にもかかわらず  
中部 MIST 研究会始まって以来最大の 70 名 (医師 60 名、コメディカル 10 名) の方に  
ご参加いただき、関係者も含めると 100 名以上にのぼり、まことに大盛況のうちに終わる  
ことができましたのでここに報告させていただきます。

一般演題は当初 10 題を予定しておりましたが、予想を超える 17 題の演題応募があり、  
断腸の思いで 14 題に絞らせていただきました。発表内容は前半では MIST を駆使した手術  
方法、後半は XLIF・OLIF についてといずれも大変興味深い内容で、すぐにでも MIST に  
役立つ有益な情報ばかりでした。

ミニレクチャー1 題目は川崎医科大学脊椎・災害整形外科教室 中西一夫准教授に胸椎  
PPS を用いた脊椎手術についてご講演をいただき、胸椎 PPS の基本手技からピットフォ  
ールまでを大変わかりやすくご教授いただきました。ミニレクチャー2 題目は、当院より山口  
英敏医師が MIST における O-arm ナビゲーションの有用性について紹介させていただきました。

また今回、中国・上海よりご参加いただいた Wu Wenjian 先生に、中国における MIST の  
現状をご講演いただきました。そして特別講演は獨協医科大学整形外科教室 種市洋主  
任教授をお招きし、成人脊柱変形の病態と治療戦略というテーマでご講演を賜りました。  
成人脊柱変形について先生がこれまで行われてきた多くの研究からそのメカニズムを明確  
にされ、われわれの目指すべき治療目標をクリアーにお示し頂きました。多くの成人脊柱  
変形治療を手掛けてこられた先生が本当の意味での低侵襲化についてお話し頂けたことは、  
参加頂いた脊椎外科医にとっては実に有意義で意味深い講演であったと思われま

今回の研究会では、一般演題 14 題から研究会アワードとして優秀演題賞を厳密な採点審査  
の上、選ばせて頂きました。見事に優秀演題賞を受賞されましたのは公立南丹病院脊椎・  
脊髄病センター 成田渉先生で、iPad を用いた術中画像支援という素晴らしいアイディア  
をご紹介頂き、奇しくも副賞として iPad mini3 を獲得されました。残念ながら優秀演題賞  
を獲得されなかったすべての演題も点数は僅差であり、今後もこの中部地域においても  
MIST に関する臨床や研究への積極的な取り組みが大いに期待されます。

一般演題 14 題、ミニレクチャー2 題、国際レクチャー1 題、特別講演 1 題とかなり過密なプログラムとなりましたが、参加していただいた皆様が疲れを感じさせない活発なご討論を行って頂き、今後のこの地域での MIST のさらなる発展を大いに感じさせる研究会となりました。

最後になりましたが、本研究会にご参加頂きました方々だけでなく、本研究会の趣旨にご賛同いただきました多くの企業の皆様に心より深く感謝申し上げます。

### 第 3 回中部 MIST 研究会

当番幹事 金村徳相

JA 愛知厚生連 江南厚生病院 整形外科

